



旧函館区公会堂

此岸から

彼岸へ。

◎地獄から帰ってきた人の話です。

「そりゃ恐ろしい所だなあー。あっちでも、こっちでも亡者が血を流してノオー。のしりあい、なぐりあい、ガリガリに、やせかけた連中が、血の涙を流しとった。最初、俺が行った時にや驚いたよ、結構な所で、なんでも欲しいものが、前に、たくさん一杯にあるでよー。でも地獄の入り口で、二米程のスプーンとナイフを手首にくくりつけられるのよー。みんな餓鬼のように、とって食べようとするけれど、すくつてもすくつても長いスプーンじゃ、自分の口にはいらんでこぼしよる。その中「お前がジャマだ」「ひとの場をとるな」ってナイフで切りつけて大騒動で、御馳走も口にはいらんでやせてガリガリじゃったよ。」

◎極楽から帰った人の話です

「それじゃあ、おれの行った所と全く同じじゃがわでも極楽の人は、長いスプーンとナイフを使って、互いに、食べあいっこしてたでマルマル太って、みんなケラケラ笑ったよ。」

◎聞いた人

「それじゃあ地獄もこの世と、

あんまり変わらんノオー。」

輪番 鷺山 諦住

ふれあいの寺本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

お知らせ

10月10日(日)～17日(日)は報恩講のため、月忌参りをお休みさせていただきます。ぜひ、ご本堂にお参り下さい。

◆ 秋季彼岸会

期 間 九月二十日(月)～二十六日(日)
晨(朝の部)午前六時半～ 速(夜(昼の部)午後二時半)
講 師 滋賀教区 蒲生下組 明光寺

本願寺派 布教使 赤松 弘淳氏

◆ 台町出張所 彼岸会

期 日 九月二十日(月) 午前十二時半～

◆二十日(月)～二十六日(日) 納骨堂及び台町墓園にて読経を勤めます

◆ラムネ・おだんこの販売 二十三日(木)のみ本院にて

◆秋のお彼岸には、お花の販売は致しておりません

..... 秋季彼岸会にあたって

真宗では彼岸会のことを讀仏会と申されて恒例の行事とされて
います。時正を縁として仏徳を讃嘆し法義相続のよすがとするも
のであります。

「暑さ寒さも彼岸まで」と、まことに春秋の彼岸は快い時節で
す。古人がこの時節を活用して到彼岸の法会を設けられた心は尊
く、またこれを、浄土往來の縁を喜ぶ法会としたことも有り難い
ことであります。

しかし、彼岸の浄土を願う人々の実情は、どうも現実の生活に
浮き浮きしていて、その願う浄土も、享樂的な自分に都合のよい
世界である場合が多く、このところは戒められるべきであります。
つまり彼岸の浄土へ往來するということは、彼岸の仏の境界に住
し、涅槃の悟りに至るといふことです。このような仏果は甘い心
で参ろうと願うものには得られるものではなく、自力のはから
い捨てて名号のはたらきまかせ、その光明に攝取せられて、現
実の生活を力強く生きるもののみ恵まれるものであります。こ
のたびは別院の彼岸会にご縁を頂き出講させていただくことにな
りました。よろしくお願いいたします。

【お供物についてのお願い】

納骨堂・墓所でのお供物は、お参りを終えられましたら、ほとけ様からのおさがりの品々として、持ち帰られます様お願い致します。

◆ 宗祖 親鸞聖人

報 恩 講

日 程 十月十二日(月) 台町出張所にて 午後二時半～
十月十二日(火)～十六日(土) 東川町本院本堂にて

講 師 和歌山教区 御坊組 専福寺

本願寺派 布教使 清水 正宣氏

◆(尚)十月十日(日)～十七日(日)は法要期間のため月忌参り
及び親鸞大尊はお休みとさせていただきます。

..... 報恩講を迎えて



「ほんこさん」

なつかしい季節が来ました。

今年はじめ、函館別院にご縁を頂いて「ほんこさん」のお取り
次ぎにお伺いいたします。

私の住む町は「和歌浦」から小一時間のところですよ。

「我が歳きはまりて、安養浄土に還帰すといふとも、和歌の
浦曲のかたを浪の、寄せかけ寄せかけ帰らんと同じ。

一人居て喜ばば二人と思うべし、
二人居て喜ばば三人と思うべし、

その一人は親鸞なり。」

と、親鸞聖人がお浄土にお還りになるとき、付き添いの人々にお
っしゃった言葉として伝えられています。

実はずっと後になって作られた伝説だとは言われますが、仏さま
の還相廻向の働きがよく表されています。

和歌浦は遠浅の海岸です。遠浅の海岸では、波がひたひたと寄せ
て来ますが返す波が見えずに消えてしまいます。見方によっては
寄せて来るばかり。ひたすら私をお救い下さるために働きかけて
下さる阿弥陀如来の大慈悲に似て暖かい景色です。

そんなことを偲びながらお伺いいたします。



「燃えた一日でした」

七月十七日「お西さんの盆踊り」がピーカンの晴天の中、賑やかに開催されました。

数えきれない程の縁の下のお力添えがあつて、暑い暑い一日限りの盆踊りを開催させていただくことができました。

本日に「協力」ご援助有り難うございました。せつかく、ご来院してくださったのに、模擬店の品々が売り切れだったり、いろいろご案内等に多々不備があり、ご迷惑をおかけしたことを思います。

しかしながら、みなさんの想いと力がひとつになつて作り上げた「お西さんの盆踊り」だからこそ、ここまでやってこれたことと思います。

来年はどんな催しになるのでしょうか？来年も一人でも多くの方々にご来院していただき、お寺に親しんで頂けるよう頑張りたいと思います。(黒田)

「時間って大切」

今回は瀬戸川町の川本さんをご紹介させていただきたいと思ひます。

川本さんのお宅は、すこし西別院より、離れていて車で三十分くらいかかる所にあるのですが、別院の大きな行事、法要等には必ずといっていい程お参りに来てくださいます。そして、お子さん、お孫さんは、みなさん龍谷幼稚園に通われたそうです。(一人通園中)七月十七日のお西さんの盆踊りにはやはり皆様でいらっしゃってくださいました。そして、その時には最後の抽選会でなにかが当たったようです。よかったですね。

そんな川本さんのお宅にお伺いした時に「いつも遠くからなので別院までのお参りは大変ですね」とお尋ねしましたら、川本さんは申しわけなさそうに「それは大変ではないですけど、病院にも毎日行かないといけないので、いつもはなかなか別院さんに参れないですよ」とおっしゃっておられました。私はその川本さんのお言葉を聞いて本当にありがたいことだと思いました。川本さんは時間を作り、そして時間をかけて別院にお参りしてくださっているのです。これからもあまり無理をせずに楽しい別院にお参りください。(石黒)



ほくらの盆踊り 上手でしょ

「511の家」

今年の夏は雨が続き、暑さが続き、大変な夏でした。雨で心配された別院の盆踊りも、天候に恵まれ、ご門徒皆様のお陰で無事終了致しました。

宮前町の山岸さんは、朝から晩まで屋台のおでんのお手伝いをして頂きました。他にも多くのご門徒さんや、教化団体の方々のお力によつてと感謝の気持ちで一杯です。

最近ではお盆やお彼岸というとお参りの方はたくさんおられても、お寺の行事の参加となると、なかなか皆さん遠慮がちになつてしまふ。お寺はご門徒の皆さんひとりひとりのお寺です。どんなお寺に足を運んで下さい。これからお彼岸も報恩講もございませう。そうした行事に参加して頂くことによつて、今までのお寺参りという感じではなく、又違った意味での楽しいお寺を知つて頂けると思ひます。



(一等テレビが当たった人)うれしい〜!信じられな〜い



スゴイ迫力だなー

私達職員一同も精一杯頑張りますので、是非友達のうちにも遊びに行くようなかんじで二度いらしてください。お待ちしております。(吉村)

「住む111」

湯川二丁目の板波さん宅へは、六月になって初めてお参りに伺いました。読経を終えてお茶を頂きながらお話を



カッコイイ

「夏って太る!」

今年の夏は毎日三十度を超える暑さで、本州出身の私もまいました。もともと、夏に弱い方ですので少し夏バテ気味でした。みなさんは夏バテしませんでしたか？

さて、今回は山の手二丁目にお住まいの氏家さんのお宅に伺ったとき、お勤めしていると、何か背中が涼しいなあと思ひました。お勤めを終えて、御文章を拝読するために後ろを振り返ると、氏家さんがうちわを持って私を扇いでくれたのです。その優しいお心遣いに感謝、感謝です。また、最後に冷し中華も御馳走になりました。本当にありがとうございます。氏家さんの暖かいお心遣いが何よりの清涼剤だと感じた時でした。みなさんの暖かいお心遣いのおかげで、毎日のお勤めをさせて頂く事ができる私です。(山岸)

聞くところ、冬季の間は娘さんが嫁いでいる鹿兒島市で、また、夏季の間は函館市で生活をしているとのこと。そういう生活もあるのだな〜とやらやましく思ひました。こうして季節によって住家を変えることができる生活に、あこがれる人々も多いのではないかと思います。



ヨッシャーはじけるでえー (三味線コンビ 晩照夫・光夫ショー)

「不安の中での出会い」

函館は、二年前の夏に旅行で訪れましたが、まさか函館別院に転勤になるとは、本当に不思議な御縁です。そして再び降り立った函館の地を眺めると、本当に素敵な街だと再確認させられました。

当別院に赴任して早速、ご門徒の方々の月参りにお伺いさせていただきました。実家である富山県のお寺に生まれ育った私は、次男である甘えからか、恥ずかしながら法務のお手伝いやお参りもほとんどしてきませんでした。ですから、ご門徒さんごとのように接したらよいのか不安でいっぱいでした。

事前に用意した地図を頼りに目的地に到着すると、新顔の私に対して快く迎えてくれました。そして「函館はいいところですよ」とおっしゃって下さる皆さんと、一日も早く親しんで触れ合っていきたいと思えました。また、それぞれの家庭には、お仏壇を中心としたお念仏の薫る生活が根付いていることを強く感じさせてくれる毎日です。(野田)

「縁と園」

人見町にお住まいの竹山さんのお宅へお伺いするようになり二ヶ月程がたちました。

先日、お伺いしたときにもお仏壇の前にお母さんのお写真が置いてあり、そのお顔を見ていると、いろいろなことが思い出されました。というのも、私がこの函館に来たとき最初に、担当させて頂いた区域が、お母さんが住まわれていた大森町でした。それからのお付き合いで、かれこれ十二年程になります。お母さんのお宅へ伺うといつも、いろいろな話をさせて頂きました。そのなかでお母さんが言われるには、「私は、いい息子と嫁に恵まれて、いつも感謝しているんです。」と、ここにこと笑っておられたお顔が今でも心の中に思い起こされます。

そして帰り際に握手をして又、来月寄せていただきますから、お体に気をつけてと声をかけると、反対に私や私の家族のことまで気づかってくれた、そのお母さんの御命日に今、お伺いしてい



今年も来ましたYOSAKOI 踊る魂いざり火チーム

る、本当に大きな縁の中に、今生かされているんだと、改めて感じさせていただきました。(神田)

「顔に責任をもちたい」

美原三丁目の尾田さん宅へ伺った時です。一枚の写真がありました。それは函館市長さん、ミスはこたでの女性、それにもう一人女性の方が写っている写真でした。よく見てみますと、もう一人の女性は尾田さんご本人でした。私はまずミスはこたの方を見てしまい、なかなか気がききませんでゴメンナサイ。

お話を聞いてみますとミスはこたでの制服を作られたとのこと、いつもと違う顔を見せて頂いたような気がしました。沢山の門徒さんがいらつしゃいます。色々なお仕事を等々されておられることと思います。皆さまの普段と違うお顔、また私のお参りの時と違う顔、もっとお会いできればいいなと思ったことでありました。(廣澤)

「お参り先が替わった！」

この度、小笠原参勤の退職に伴い二年半お参りを担当させて頂きました二区(豊川・大森、海岸町まで)から二区(函館山の回り)へ移ることになりました。二区の皆さまには初めて函館に来て不慣れた風習に戸惑う中、色々なことを学ばせて頂きました。「馴れた頃には担当が変わってしまうね」とよく言われますが私はまた函館に(台町出張所に引越)しお参りするのでお寺に、また二区の皆さま



シビれる歌声!イヨッ千扇



一緒に笑い、食べ、飲んでたのしみでした。



手話落語「覚えて帰ってやー」

には誠実な前任の小笠原さんを見習いながら精一杯頑張りますので何とぞ宜しくお願い致します。(高倉)

出張所のお坊さん

プロフィール

名 前/高倉 健司
生年月日/S47.8.24 27才(間もなく結婚)
出身地/北海道 栗山町
経 歴/帯広別院(3年)→函館別院(3年目)
趣 味/バイク、スキー等

船見町・大町
舟天町・弥生町
入舟町・元町
末広町・青柳町
谷地頭町・住吉町
宝来町・東川町

乙女のつぶやき《事務員日記》

今年の夏は函館海洋気象台始まって以来の猛暑だったそうで、海などに行かれた方も多いのではと思います。

さて、今年の夏ですが、あまりの暑さに窓を開けて寝たら、かなり虫に刺されました。しかし普段動植物の尊い命を頂いて生かされて私です。普段の罪滅ぼしにでもなれば…と思う今日この頃です。(小池)

ご門徒さんいらっしゃーい



弁慶力餅三晃堂
社長 野路邦英さん

高校より東京の大学へ、45歳で函館に帰って来て家業を継いで20年になります。全く菓子など作ったことのない菓子屋の息子45歳からの修行でした。しかしながらようやく全商品をつくることもでき、目下人と人との繋がり、そして商売繁盛に精を出しています。幸い帰函し直ぐに別院の壮年会にも入会して老年ではありますが現役会員として各集会、催し物に参加させて頂いています。なぜか、お寺にお邪魔しますと心が安らぎ仕事の途中に用もないのに寄せて頂いたりして。祖母、父母のお陰で仏壇にも毎日お参りさせて頂き「今、生きている喜び」を味あわせて頂いております。



◆テレフォン法話◆

お釈迦様の説法の中にこんな話があります。
あるお金持ちが友人の家を訪問して、その三階建ての豪家を羨ましく思いました。そこでさっそく大工をよんで三階建ての家の建築を命じました。大工はまず基礎を作り、二階を組み、それから三階に進もうとしました。主人はこれを見て、もどかしそうに叫びました。「私の求めるのは土台ではない。二階でもない、三階だけだ。はやくそれを作れ。」と言ったそうです。私はその話を聞くと自分自身の姿を思い浮かべます。私は勤め励む事をせず、ただよい結果だけを求める事が多いと思います。土台のない三階はありえません。「ほとけ様の願い」をたまたま一回聞いただけで、これで「事たれり」と居座っていると思います。せっかく「生まれがたい人間」に「今、生まれている」のです。煩惱まみれのこの身が救われる道を、機会あるごとにお聞かせいただきます。 (石黒)

●テレフォン法話順番表●

- 8月29日(日)~9月4日(土)…廣 澤 ●10月3日(日)~10月9日(土)…黒 田
- 9月5日(日)~9月11日(土)…輪 番 ●10月10日(日)~10月16日(土)…野 田
- 9月12日(日)~9月18日(土)…副輪番 ●10月17日(日)~10月23日(土)…布教使
- 9月19日(日)~9月25日(土)…布教使 ●10月24日(日)~10月30日(土)…山 岸
- 9月26日(日)~10月2日(土)…野 川 ●10月31日(日)~11月6日(土)…吉 村

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ



0138 ^{にし にし} 27局 2424番

Q&Aコーナー

教えてお寺さん!
ご門徒さんのご質問にお答えします



お説教を聴きたいのですがいつ聴けるのですか?
また、雅楽を聴いた友達がいますのですがいつ聴けるのですか?



毎月11日から15日まで「常例法座」と言いまして午後1時30分頃から午後3時位までお説教があります。11日は別院職員、12~15日は全国からお見えになる布教使、そして16日は親鸞大学として宣法寺の渡邊先生が講義くださいます。どなたでもどの宗派でもご自由にお越しになれます。尚、雅楽ですが親鸞聖人の御遠夜の15日と御命日に当たる16日は毎月、その他に彼岸会、初盆会、報恩講などで演奏されます。お西さんの行事のページに掲載していますのでぜひお時間を作ってお寺にいらして来てください。

夏休み外伝 ボーイスカウト奮闘記 [函館第2団]

去る7月30日~8月1日2泊3日の行程でお寺のかわいい勇者(ボーイスカウト函館第2団13名)達は早朝6時に集合し、第2回全道本願寺派スカウト大会会場を目指し一路、小樽天狗山へと向かった。前日からの雨などものともせず、元気に学び遊びまわってきました。ピーバースカウト/カブスカウト達はドシャ降りの中、天狗山でのスタンプラリーの取行。そして、小樽交通博物館や小樽水族館を巡るシティスイープ。ボーイスカウト達はガラスのコップ作りに挑戦!遊び疲れた身体はバーベキューバイキングでエネルギー充填。夜には約170名のスカウト達が一同に集まっての楽しい模擬ファーマーでたくさんの友達の輪を作ることができました。

小樽別院の参拝をはたし、楽しい思い出をギッシリ胸につめ小樽を後にした。しかし、アクシデントは起きた。連日の雨によって国道5号の野田追橋が通行止めとなり、北松山~熊石~江差と160キロ以上の迂回を強いられ、9時間かけて無事函館へ帰ってきました。“備えよ つねに”の精神を身をもって体験した数日でした。



小樽別院参拝



いろんな魚にビックリ

おつかれ様 お元気で



この度、七月二十日付をもちまして、函館別院を退職し、自坊(島根県)に帰ることとなりました。函館での七年半、皆様には本当にお世話になりました。心からお礼申し上げます。

不安な気持ち一杯で函館にやってきましたが、また私の僧侶としての一歩目を踏み出すことが出来たのは、皆様の温かい心に出遭うことが出来たからこそだと感謝しています。行きつまって悩んでいた時、落ち込んでいた時、ご門徒の方々の笑顔や言葉掛けに幾度となく助けられたことでした。おかげさまで、ありがとございました。ありふれた言葉でしか表せないのですが、今はこの気持ちで一杯です。

色々なことが思い出され、寂しさは募りますが、これからは心機一転、自坊で精一杯勤めていくことが、皆様への恩返しと、精進していくつもりです。もし、お近くまでお越しになりますことがありましたら、是非お立ち寄り下さい。いつでも大歓迎です。

又、私も暇をみては函館に帰って来たいと思いますのでその時はなつかしくお会いすることが出来れば、と思っています。

それでは皆様 お身体大切に、有難うございました。

小笠原 義敬

ゆく人

くる人

いらっしやい 函館へ



ご本山で五年余り勤めさせて頂いたとき、この度七月十三日付けにて函館別院の参勤を拜命いたしました。

一日も早く函館の環境に慣れて、たくさんの方々とお話しして、お念仏の輪を広げていきたいと希望に燃えております。今年で三十歳になったわけですが、まだまだ勉強不足です。ご門徒の皆様を始め、諸先輩方の御指導を仰ぎつつ、一日一日を大切にしていきたく思いますのでよろしくお願い致します。

野田 潤爾

“生きるよろこびを親鸞聖人に学ぶ”

函館親鸞大学

- ◆講師 渡辺春龍先生
- ◆開講日時 毎月16日 午後2時より
- ※但し、7月・10月は休講・11月のみ19日開講



入学に年齢・資格性別の制限はありません

◆受講料 無料 (但し、教材費別途)

生徒募集

仏教壮年会 全道大会案内

全道各地のお寺から壮年会の会員が函館に集まってきます。楽しく有意義な研修会です別院壮年会も全面協力!!そこで随時会員募集中!

問合せ別院まで

記

日時 平成11年11月20日(土)~21日(日)まで
場所 湯ノ川温泉 湯元啄木亭
テーマ 「限りなきお慈悲のなかに」
内容 足利孝之氏講演 演劇説法等



仏事の豆知識

あの立松 和乎氏を講師に迎えての

函館南無の会 第5回講演会

講題 仏に会う
日時 平成11年11月7日(日) PM.1:00~
会場 西別院文化会館 東川町12-12(高砂通り) (☎23-0647)
会費 1,000円

※座に限りがありますので、チケットのお求めはお早めをお願いします。

ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、急に一日用事で出かける方、安心してお出かけ下さい。

ミッキークラブ でおあずかりします。

対象

担当

龍谷幼稚園生並びに 古澤 妙子先生 (元龍谷幼稚園主任)

龍谷幼稚園 ☎23-0274
お問い合わせは ミッキークラブ ☎27-4304

南無の会

喫茶「辻説法」

講師 鷺山諦住氏(西別院輪番)
講題 あなたにとって宗教とは?
日時 平成11年10月2日(土)
会場 グリーンホテル (☎26-8874) 松風町19-19
会費 1,000円

お西さん九月／十月行事一覽表

九月

- 六日 浄書の会
- 八日 十五代住如上人祥月命日
通信教育(おつとめ)
- 十一日 職員法話
- 十二日～十五日 常例布教
- 十四日 運如上人ご命日
覚信尼会例会
- 十五日 宗祖御逮夜法要
壮年会例会
- 十六日 宗祖ご命日法要
- 十九日 親鸞大学
十代證如上人祥月命日
- 二十日 秋季彼岸会(台町出張所)
- 二十日～二十六日 秋季彼岸会
- 二十八日 仏教に学ぶ会

十月

- 二日 二十代広如上人祥月命日
浄書の会
- 四日 二十二代鏡如上人祥月命日
台町報恩講
- 十一日 宗祖聖人報恩講(本院)
- 十二日～十六日 蓮如上人ご命日法要
- 十四日 十三代良如上人祥月命日
- 十八日 仏教に学ぶ会
- 二十八日

永代経懇志
ありがとうございます

お悔やみ申し上げます

第1回 輪番杯争奪 ゴルフコンペ



教化サークル・ご門徒さんとの親睦を深めるべく、九月二日(木)秋晴れの中、佛教壮年会主催・青年会協賛 第一回輪番杯争奪ゴルフコンペが開催されました。参加者十八名、ベテラン・初心者入り混じっての大混戦の中、当院の清掃でお世話になっている函館リンスロンの大黒廣二さんが見事優勝の栄光を手にされました。今回のコンペをきっかけに、これからも皆さんとの交流を深める様々な企画を検討中ですので楽しみにしててください。競技結果は次の通りです。

優勝	大黒 廣二	函館リンスロン
準優勝	野呂 信詞	青年会 野呂非儀社
1位	岡本 竹俊	職員
2位	加賀 康彦	社年会 みどりや加賀商店
3位	野尻 康博	青年会 デジックス

編集後記

▼北海道らしくない暑い夏を迎え少々夏バテ気味だった七～八月も過ぎ、秋彼岸・報恩講と仏事が続きます。各地で起きた水害・航空機事故にトルコの大地震まさかと思うことばかりがニュースで流れ、驚く間もなく次の事柄が耳に入り二～三日前の出来事は忘れ、時間に追いつた二日を過ごす。ご門徒さんの前で偉そうに話しているながら、目先のこと右往左往している自分が情けない。(黒田)

▼先日、納骨堂の永代経法要がございました。一時からの納骨堂での法要に六十人位の方がお集まりになりました。一時半からの御命日法要にはなぜか半分帰ってしまい三十人位、二時からの常例法座の一席めにはまた半分帰って十五～十六人位、二席めの前の休憩時間にまた半分帰って最後に残った方は毎月お寺に法話を聴きに來て下さっている皆さんだけでした。お寺に行くという事は亡くなった人の為ばかりではありません。今生きているこの私の為でもあるという事を忘れてはいないでしょうか。(高倉)

▼あるところでの話です。お孫さんがお生まれになったとのこと、子供の話になりました。今は男か女か生まれる前に分かり、もつとすれば産み分けも可能になった。クローン人間までつくられるとのことです。今の人は子供を作ると言われます。昔の人は子供に恵まれると言っておられたような気がします。つくられた命、恵まれた命、命ということを考えさせられたことでした。(廣澤)

お便り大募集

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えしますので、編集部迄お手紙でお寄せ下さい。又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。

お問い合わせ ☎(0)138(2)310647



お寺へ行くこう

ようこそ常例布教へ

9月 高岡教区 射水組 浄全寺
海内 慶静 氏

十一日 職員法話

十二日

布教使

(午後1時30分より)

会場 当院本堂にて

十六日は十月お休み

※なお、毎月十六日は、十二時半より
文化会館1Fにて十六日会です。

土曜の会へ行こう

●九月二十五日(土)

●十月三十日(土) 報恩講

(午後一時三十分より)

会場 日吉町熊谷宅にて

お問い合わせ ☎0138854768859

浄書(写経)の会

●九月六日(月)

●十月四日(月)

会場 別院内堂

(午前10時より)

※現在は讃佛偈の写経を行っています。
初めての方もどんどんご参加下さい。

親鸞大学

●毎月十六日 (午後二時より)

会場 文化会館1Fにて

※十月は報恩講のため休講
※十一月は十九日に開講

号外

★本堂白壁／龍谷幼稚園外壁
お色直し工事完了

この度、本堂白壁／龍谷幼稚園
外壁お色直し工事を八月十七日よ
り着工させていただき、無事に工
事を終えることができました。工
事期間中、ご法事や永代経、各教
化サークル等の活動などでご来院
くださった方々に少々ご不便をお
かけしました。

みな様のご協力によって永年に
渡って降り積もった汚れを一掃す
ることができました。これからも
みな様が気持ちよくご来院して頂
けるよう職員一同、護持発展に全
力を尽くして参ります。

ご協力ありがとうございました

去る7月17日盆踊りが開催されました。
盆踊りは、みな様からの多額の提灯献
灯料並びに協賛懇志によって大盛況
のうちに幕を閉じることができました。
来年も新しい企画・内容で楽しめる
盆踊り大会を開催したいと願っており
ます。これからも変わらぬご協力・ご支
援の程、宜しくお願い申し上げます。



みんな集まれ
仏の子

龍谷幼稚園
で〜す



“楽しかったね お泊まり会!”

高島 綾子 先生

「先生、あと何回寝たらお泊まり会?」と毎
日のように聞いてきた子や「ばく、おばけや
っつけるから!」話していた子など、年長組
の子ども達は、それぞれお泊まり会を心待
ちにしていたようです。

7月21日、いよいよ親から離れお泊まり
会の始まりです。1泊2日のスケジュールは
盛り沢山。植物園内にあるプールで友達や
先生方と水のかけ合いっこ。市営谷地頭温泉で
は、露天風呂にも入り、夜には、園庭が花火大会
の会場に大変身です。そしてこの日の最後は園内
探検の時間です。恐くて泣いてしまう子もいましたが、
全員ゴールまで頑張りました。興奮が冷めずなか
なか寝付けないでいた子も気がつくともう夢の中
です。翌朝、先生からがんば
ったごほうびのモンスターボール
をもらい、笑顔で帰っていく子
ども達は、ひと回り大きくなっ
たようです。

